

The 2 Chome Times 平成26年11月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO198.

2014・11・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイム月11月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

<http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

★今年もインフルエンザ予防接種が始まりました

今、世界ではエボラ出血熱ウイルス、日本ではデングウイルスで大騒ぎになっていて、防疫の面での対策が急がれていますが、「予防対策の出来るウイルス」としてはインフルエンザがあり、今年もセンター街2丁目では竹村クリニックの御協力を得て、インフルエンザワクチンの接種が既に始まっています。接種期間は平成27年1月30日(金)までですが、接種後に体内で抗体が形成されるまでに2週間程掛かりますので、早期の接種が望まれています。効果は約5か月間続きます。接種を受けたから100%インフルエンザに罹らないというわけではもちろんありませんが、罹患する人数を全体で減らし、2次感染者を減らし、結果として重篤になる方の人数も減らせるという意味で、大きな意義があります。既にお配りしたワクチンの接種申込書・予診票をよくお読みになり、できるだけ早く竹村クリニックでの接種を受けて下さい。お問い合わせ： 竹村クリニック Tel. 078-391-3131

★神戸市の有志の職員の方々からもお見舞が続々、、、

先月号でお伝えした重い心臓病を患い、米国での心臓移植手術を望んでいる沖縄の中学生、松島良生(らい)君に少しでも役立てて頂こうと神戸市の有志の方々から心のこもったお見舞金のお申し出があり、KOBE三宮・ひと街創り協議会の久利会長が神戸市役所で岡口副市長から手渡しでお預り致しました。その岡口副市長からのメッセージを頂きましたのでご紹介いたします。



「沖縄と神戸の皆様のおかげで、非常に熱い交流をかねてからさせて頂いております。神戸の街衆の皆様には改めてお礼を申し上げたいと思います。その中で先日来、街衆の皆様が、松島君を救うべく久利理事長を筆頭にされた行いについて深い感銘を受けております。わずかな事ではありますが、今回我々にも出来ることがあればという事で、久利理事長に沖縄にお届け頂くようになりました。引き続き沖縄と神戸がより良い信頼関係・絆を深める一助になればと思っております」とのことです。久利会長もこれに対して、神戸出身の沖縄戦に散られた最後の官選沖縄県知事である島田さんが「命は宝」と言っておられたことを引き合いに出し、「神戸市長をはじめとする神戸の皆様が島田さんを尊敬しているから、島田さんの意思を神戸市の職員の皆様がこうして受け継いでいращやる」と大変喜んでおられました。皆様の温かい心が松島君に届くでしょうし、手術が成功することを心からお祈りしております。なお良生君の募金は目標に達し、12月2日に渡米します。朗報を待つばかりです。

★人工尾びれのイルカの「フジ」天国へ

突然の悲しいニュースが飛び込んで来ました。沖縄の美ら海水族館の人気者、イルカの「フジ」が11月1日に亡くなりました。死因は感染性の肝炎だそうで、推定年齢は45歳だそうです。ご存じのように、「フジ」は2002年に病気で尾びれの約75%の除去手術を受け、その後ブリジストンタイヤさんの協力の下で、人工尾びれを装着して元気になりました。「夢・未来号」でも、毎年子供さん達を「フジ」のいた美ら海水族館に御案内していま



した。海に生きる彼女に尾びれがどれほど大事な物かは子供さん達にも十分理解できるはずですし、彼女の困難に負けない生き様をお見せすることで、子供さん達にも「フジ」から勇気を与えてきてもらいました。

彼女を見せることで命の大切さを改めて感じてもらえるものと信じてきました。私達、神戸の街衆はこの命の大切さを子供さん達と共有し、現在命の危機に瀕している沖縄の松島君の募金活動にも全力で協力しているわけです。「フジ」は亡くなりましたが、この「フジ」の生き様を来年以降の「夢・未来号」でも子供さん達にお伝えして行く所存ですし、そうあらねばならないと強く感じています。「フジ」のご冥福を祈っています。アリガトウ「フジ!」の追悼文を今、夢・未来号に参加した子供さん達が書いています。近日中に美ら海水族館にお届けします。

★センター街2丁目香港懇親旅行

10月21日より2泊3日、総勢29名で香港懇親旅行を実施しました。香港は今、行政長官選出の選挙のあり方を巡って混乱しているとの報道が新聞等でされていたこともあって、旅行先として不安な気持ちもありましたが、実際に現地に行ってみると大きな混乱もなく、旅行に何等差支えが有りませんでした。



改めてマスコミ報道の在り方について考えさせられました。現地のガイド

さんによると、近年多くの人が中国本土から、観光・ショッピングに押し寄せられ、それに伴いブランド品を扱う店舗の増加、物価・マンション価格の上昇等の



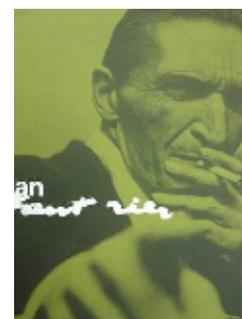
影響が出ているそうです。中国頼みの経済成長の光と影は、日本のみならず世界共通かもしれませんね。参加各位の皆様は香港でグルメ・ショッピングなど、思い思いの楽しみ方をされました。マカオのカジノで、なんと「勝った」方や「バンジージャンプ」に挑戦した方もおられたと

聞きました。街創りにおいて大切な親睦も旅行を通じて深まり、意味のある旅行だったと思います。最後に、お世話になったセントラルツアーズの山下社長をはじめ、社員の方々にお礼申し上げます。

今年是多忙で旅行への参加を見送られた方も来年はご参加をお待ちしています！

★抽象画の先駆者 ジャン・フオートリエ

私達関西の人間には馴染み深い具体美術協会のアンフォルメ抽象画活動の先駆けを成す「フオートリエ」(1898-1964)の大規模な回顧展が現在、大阪の国立国際美術館で開催されています。初夏の東京ステーションギャラリーを皮切りに豊田市美術館を経ての最後の巡回展です。魅力的な作品の数々の中で盟友の編集者・文学者であり、最前線を走る作家を支えたジャン・ボーランとの対談を撮った会場で上映されている短い映画は、しみじみと友とは何かを語りかけて来て印象的です。



大阪国立国際美術館

2014年9月27日～12月7日 月曜休館 午前10:00～19:00 (入場は閉館の30分前迄)

Tel. 06-6447-4680 住所 大阪市北区中之島4-2-55

携帯サイト <http://www.nmao.go.jp/m/>

★編集後記

私達の街の組合員でもあるドンクさんがこの程、先月の神戸新聞の記事に取り上げられました。タイトルは「女性はずらつ 会社も元気に」というもので、神戸地区エリアマネージャーで2丁目の理事でもある伊藤美智子さんも写真付きで紹介されました。ドンクさんが女性の社員を積極的に店長や管理職に登用したり、女性が働きやすい環境作りのために「女性活動推進プロジェクト」を始動されていることなどが、県や市にも評価されています。これはドンクさんが如何に普段から努力されているのかを如実に表しています。このように女性の雇用を増やし、女性の幹部職への登用を促進させる動きが国でも進んでいて、「女性の活躍推進法案」が議論されていくのだとか。家庭に美味しいパンを、そして女性には希望を与えているドンクさんは私達の街の誇りですね！

